

平成28年度 国東市：全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 結果のポイント

正答率	中学校：国語	
	国語A	国語B
国東市	74.0	65.1
大分県	74.7	66.2
全国	75.6	66.5

分類	国東市	大分県	全国	
	国語A	話すこと・聞くこと	76.5	77.9
書くこと		73.5	73.2	73.7
読むこと		74.4	76.9	78.6
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		73.2	73.2	73.9
国語B	話すこと・聞くこと			
	書くこと	58.7	58.2	58.3
	読むこと	65.1	66.2	66.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			

・全国平均との比較では、国語Aは-1.6ポイント（昨年度：+1.1ポイント）で全国平均を下回り、国語Bは-1.4ポイント（昨年度：-1.1ポイント）となり、いずれも全国平均に届いていない。

・当該学年が小学校第6学年の時の全国平均との差を比較すると、国語Aでは+0.4ポイント、国語Bでは+1.0ポイントの伸びが見られる。

・領域別では、国語Aにおいては全ての領域において全国平均を下回っている。「話すこと・聞くこと」で-2.4ポイント、「書くこと」で-0.2ポイント、「読むこと」で-4.2ポイント、「伝国」で-0.7ポイントとなっている。国語Bにおいては、「書くこと」で+0.4ポイント、「読むこと」で-1.4ポイントという結果となっている。

2 課題が見られた問題と指導の改善事項

国語A 6 説明的な文章を読む

設問二

①趣旨 文章の構成や展開について自分の考えを持つことができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の特長について、自分の考えをもつこと。〈自分の考えの形成〉

◆評価の観点 読む能力

②解答類型と反応率

6 二

生徒数の割合 (%)

設問の概要		国東市	全国
文章について説明したものとして適切なものを選択する			
1	1と解答しているもの	22.0	16.2
2	2と解答しているもの	14.2	10.0
3	3と解答しているもの	7.3	5.9
◎4	4と解答しているもの	56.4	67.3
5	上記以外の解答	0.0	0.0
6	無解答	0.0	0.6

◎が正答

◆正答について

筆者は、始めに「自然界には優れた『包装』がたくさんあります。」と述べた上で、具体的例として、「蓮の種」「動物の卵」「木の実」を挙げ、それらの仕組みを説明している。

◆分析と課題

正答率は 56.4 %であり、文章の構成や展開について自分の考えを持つことに課題がある。全国平均正答率 67.9 %を 10.9 ポイント下回っている。

解答類型 1 の反応率は 22.0 %である。これは、文章中の「開発」や「しくみ」という言葉に着目することはできているが、それらがどのような文脈で用いられているのかについて適切に捉えられなかったものと考えられる。

③指導の改善事項 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ

説明的な文章を読む際には、書かれている内容を理解するだけでなく、文章の構成や展開、表現の特徴を分析的に捉え、その工夫や効果について自分の考えを持つことが大切である。そのような読みに関する視点を持つことが読む力の汎用性を高め、初見であっても展開や表現上の特徴を的確に捉える力を伸ばすことにつながる。例えば、主張に基づく具体例の示し方などに着目し、書き手の意図を考えたり、その効果を考えたりする学習活動が効果的である。また、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けることができるようにすることも考えられる。図や表を用いながら情報を整理して段落ごとの内容を捉え、文章全体がどのように構成されているのかについて自分の考えを持つなどの学習活動も効果的である。

国語A **7** 話し合いをする

設問二

①趣旨 互いの発言を検討して自分の考えを広げることができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第2学年] A 話すこと・聞くこと

オ 相手の立場や考えを尊重し、目的にそって話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。〈話し合うこと〉

◆評価の観点 話す・聞く能力

②解答類型

7 二

生徒数の割合 (%)

設問の概要		国東市	全国
話し合いを踏まえた発言として適切なものを選択する			
1	1と解答しているもの	6.4	4.7
2	2と解答しているもの	3.2	2.6
◎3	3と解答しているもの	54.6	62.0
4	4と解答しているもの	35.3	30.0
5	上記以外の解答	0.0	0.0
6	無解答	0.5	0.6

◎が正答

◆正答について

西さんは、前田さんの発言を受けて、折り紙だけに言えるよさを考え、「作ったものを記念して持ち帰ることができる」という和太鼓にはないよさを挙げている。

◆分析と課題

正答率は 54.6 %であり、互いの発言を検討して自分の考えを広げること課題がある。

全国平均正答率 62.0 %を 7.4 ポイント下回っている。

解答類型の 4 の反応率は 35.3 %である。これは、西さんが「折り紙」を支持していることは理解しているが、【黒板にまとめた意見】を基にしてそれまでの話し合いの経緯を踏まえることができなかつ

たものと考えられる。また、「さらに付け加えたい意見」を述べる場面であることを理解できなかったものとも考えられる。

③指導の改善事項 **話し合いの流れを確認しながら互いの発言を検討し、自分の考えを広げる**

合意形成を目指す話し合いを行う際には、相手の立場や考えを尊重し、場面に応じて的確に話したり、聞いたりすることが大切である。その際、互いの発言を検討し、話題になっている物事について別の立場や視点から考えることを通して、自分の考えを広げることができるようにする必要がある。他の人の意見を聞いて、異なるものの見方や不足していた視点などに気付くように指導することが大切である。そのうえで、説得力のある新たな発言をするなど、課題の解決に向けて互いの考えを生かしあうように指導することも重要である。例えば、互いの発言を振り返り、互いの発言について検討するなどの学習活動が考えられる。

指導にあたっては、平成25年度実施【国語A①二】、平成26年度実施【国語A⑥一】に係る授業アイデア例も参考となる。（「H25【中学校】授業アイデア例」P.7, 「H26【中学校】授業アイデア例」P.7）

国語A **8** 奥付を読む

設問二

①趣旨 奥付を使って本についての情報を得ることができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] C 読むこと

カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身につけ、目的に応じて必要な情報を読み取ること。＜読書と情報活用＞

◆評価の観点 読む能力

②解答類型と反応率

8 二

生徒数の割合 (%)

設問の概要	生徒数の割合 (%)	
	国東市	全国
資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する		
1 1と解答しているもの	13.3	10.2
◎2 2と解答しているもの	51.8	62.4
3 3と解答しているもの	7.3	5.9
4 4と解答しているもの	26.6	19.9
5 上記以外の解答	0.0	0.0
6 無解答	0.9	1.6

◎が正答

◆正答について

【奥付】によれば、この本が発行されたのは、2003年であり、現在までに10年以上経過している。この資料集を活用する際には、掲載されている内容がいつの時点のものなのかに注意し、自分の目的に合っているかどうか確かめる必要がある。

◆誤答について

ア 選択肢1 → 【奥付】によれば、著者は西田奈津子さんであり、青木太郎さんは発行者である。

イ 選択肢3 → 【奥付】によれば、発行所が本の取替えに応じるのは、落丁や乱調がある場合である。

ウ 選択肢4 → 資料を引用する場合には、書名や著者名などを示さなくてはならない。

◆分析と課題

正答率は 51.8 %であり、奥付を使って本についての情報を得ることに課題がある。全国平均正答率 62.4 %を 10.6 ポイント下回っている。

解答類型 1 の反応率は 13.3 %である。これは、著者と発行者の違いについて正しく理解していないものと考えられる。

解答類型 4 の反応率は 26.6 %である。【奥付】に「無断で複写・複製すること」を禁じる内容が書かれていることは捉えているが、著作権の尊重や保護については理解できていないものと考えられる。

③指導の改善事項 **奥付などに着目し、目的に応じて情報を収集する**

本から必要な情報を得る際には、書かれている情報が自分の目的にあっているかどうかを確かめるように指導する必要がある。例えば、資料集や年間の「目次」や「索引」などに着目して、自分の求めている情報を得ることができそうか見当をつけたり、「奥付」の発行月日を目安にして、示されているデータの時期を確認したりするなどの学習活動が有効である。なお、書かれていることを引用する際には、小学校での学習を踏まえて、鍵（「」）でくくることや出展を明示することなどについて留意し、著作権を尊重し保護するように指導する必要がある。

国語 A **9** 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

設問一 2

①趣旨 文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

〔第 2 学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（1）ウ

（イ）学年別漢字配当表に記されている漢字を書く、文や文章の中で使うこと。

◆評価の観点 言語についての知識・理解・技能

②解答類型

9 一 2

生徒数の割合 (%)

設問の概要	国東市	全国
漢字を書く（今までにないドクソウ的な考えだ）		
◎ 1 「独創」と解答しているもの	17.9	26.1
2 「独創」のうち「独」だけ解答しているもの	68.3	57.2
3 「独創」のうち「創」だけ解答しているもの	0.0	0.2
4 上記以外の解答	4.6	5.2
5 無解答	9.2	11.4

◎が正答

◆正答について

「独」は、小学校 5 学年、「創」は小学校 6 学年の配当漢字である。

◆分析と課題

正答率は 17.9 %であり、全国平均正答率 26.1 %を 8.2 ポイント下回っている。「独」のみ正しく書いてある生徒は、68.3 %であり、正答の 3.8 倍にも上る。「創」については、「想」「奏」「走」などという誤答が見られた。無解答率は 9.2 %で全国よりも低くなっている。

③指導の改善事項

漢字の指導にあたっては、漢和辞典や国語辞典などを活用してそれぞれの漢字の部首や意味などについても確認させるなど、正確に読み書きできるようにすることに加え、漢字の特徴を理解して適切に使

えるようにすることが大切である。そのためには、既習の漢字を積極的に使用するよう指導するとともに、同音の漢字や形が似た漢字など、間違えやすい漢字を取り上げ、漢字単体で考えさせるのではなく、文脈に即した語として正しい字を使用する機会を様々な形で生徒に与えることが必要である。

指導にあたっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A⁸に係る授業アイデア例、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語-10、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B³も参考になる。(平成21年度【中学校】報告書」P.195、「4年間のまとめ【中学校編】」P.111、「言語活動事例集【中学校版】」P.37～P.38)

設問三オ

①趣旨 文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心を持つこと。

◆評価の観点 言語についての知識・理解・技能

②解答類型

9 三オ

生徒数の割合(%)

設問の概要	生徒数の割合(%)	
	国東市	全国
適切な語句を選択する(会長候補として白羽の矢が立つ)		
◎1 1と解答しているもの	39.0	54.0
2 2と解答しているもの	19.7	16.0
3 3と解答しているもの	35.8	25.3
4 4と解答しているもの	5.5	3.9
5 上記以外の解答	0.0	0.0
6 無解答	0.0	0.8

◎が正答

◆正答について

「多くの人の中から特に選び出される」という意味を持つ「白羽矢が立つ」が正答である。

◆分析と課題

正答率は39.0%であり、課題がある。全国平均正答率54.0%を15.0ポイント下回っている。

解答類型2の反応率は19.7%、解答類型3の反応率は35.8%である。これらは、「白羽の矢が立つ」という慣用句を知らず、「矢」に着目して、それぞれ選んだものと思われる。

③指導の改善事項 場に即した語句・語彙指導の工夫

語句の意味について理解を深めるためには、語句の辞書的な意味をもとにして、文脈上の意味を考えることを慣習化できるように指導することが大切である。例えば、各教科等の学習や読書活動をする中で出会った慣用句やことわざなどを取り上げ、それぞれの意味を確認するとともに、具体的な使用例を考えるなどの学習活動が有効である。また、教師が意識的に慣用句やことわざなどを用いて話したり、掲示物や配布物に取り入れたりするなど、言語環境を整えることも効果的である。

指導にあたっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A⁸三、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A⁷三、平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A⁸三に係る授業アイデア例、も参考になる。

(平成21年度【中学校】授業アイデア例」P.2、「平成21年度【中学校】報告書」P.200、「4年間のまとめ【中学校編】」P.110、「平成24年度【中学校】報告書」P.162、「平成26年度【中学校】授業アイデア例」P.8)

設問四イ

①趣旨 辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉えることができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。

◆評価の観点 言語についての知識・理解・技能

②解答類型

9 四 イ

生徒数の割合(%)

設問の概要		国東市	全国
漢和辞典の「意味」の中から、「優美」の「美」の意味として適切なものを選択する			
◎ 1	1と解答しているもの	58.3	62.8
2	2と解答しているもの	5.0	2.7
3	3と解答しているもの	10.1	8.7
4	4と解答しているもの	26.6	24.5
5	上記以外の解答	0.0	0.2
6	無解答	0.0	1.0

◎が正答

◆正答について

「賛美」は「ほめたたえること」、「優美」は「上品で美しいこと」である。

◆分析と課題

正答率は58.3%であり、課題がある。全国平均正答率62.8%を4.5ポイント下回っている。

解答類型4の反応率は24.4%である。これらは、一つの漢字が持つ複数の意味を熟語の意味と結びつけて適切に捉えられなかったものと考えられる

③指導の改善事項 **辞書を活用して語彙を豊かにする**

漢字には、一つの文字に複数の意味が備わっているものが多くある。その意味については、漢和辞典を用いて調べる学習活動などを通して、熟語の意味と結びつけながら適切に捉える必要がある。その際、語句の持つ意味を確認するだけでなく、文脈に即して意味を捉えたり、適切に用いたりすることができるように指導することが大切である。

設問五

①趣旨 文の成分の照応について理解しているかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第2学年] 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 文の中の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること

◆評価の観点 言語についての知識・理解・技能

②解答類型

9 五	設問の概要	生徒数の割合 (%)	
		国東市	全国
	文章を書きなおした意図として適切なものを選択する		
1	1と解答しているもの	9.2	10.0
2	2と解答しているもの	12.8	9.2
3	3と解答しているもの	30.3	28.5
◎ 4	4と解答しているもの	46.8	50.8
5	上記以外の解答	0.0	0.1
6	無解答	0.9	1.3

◎が正答

◆正答について

【A】の文では、—— 線部「とても」が修飾している言葉が。「大きく」、「貢献している」、「驚きました」のどれなのかが明確ではなく、伝えたいこととは違う意味に受け取られる可能性がある。

【B】の分では、「とても」と「驚きました」の位置を近づけ、「とても」が「驚きました」を修飾していることを明確にしている。

◆分析と課題

正答率は46.8%であり、課題がある。全国平均正答率50.8%を4.0ポイント下回っている。

解答類型3の反応率は30.3%である。これは、指示語がどのようなものかについて具体的な語句と結びつけて理解できないものと考えられる。

③指導の改善事項 文の成分の照応について理解する

文の成分の照応について学習する際には、語順の違いによって伝わり方がどのように変わるのについて考えることなどを通して、分の成分の順序に関心を持つことができるように指導する必要がある。その際、諸語と述語、修飾語と被修飾語などの分の成分の名称と結びつけながら確認することが大切である。例えば、書いた文章を読みかえる際に、推敲の観点のひとつとして取り上げ、語順や語の照応による表現の違いについて検討するなどの学習活動が考えられる。

指導にあたっては、平成27年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A9四に係る授業アイディア例も参考になる。(平成27年度【中学校】授業アイディア例 P.4)

国語B 1 情報を読む(漆)

設問一

①趣旨 文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、用紙を捉えることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり、趣旨を捉えたりすること。 <文章の解釈>

◆評価の観点 読む能力

②解答類型

1 ー 1

生徒数の割合 (%)

設問の概要		国東市	全国
ちらしの表と裏からわかる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する			
◎ 1	1と解答しているもの	72.5	76.2
	2と解答しているもの	8.7	7.6
	3と解答しているもの	12.8	11.4
	4と解答しているもの	6.0	4.6
	上記以外の解答	0.0	0.0
	6 無解答	0.0	0.2

◎が正答

◆正答について

【博物館のちらし(表)】には、「暮らしの中の伝統文化展」が第1期から第3期まで開催されることが書かれている。また、【博物館のちらし(裏)】には、『伝統文化』という遠い存在のように感じられますが、実は今の暮らしの様々なところに息づいています。」と書かれている。これらのことから、漆や和紙、織物などの日本の伝統文化と現在の生活とのつながりについて知ってもらうことが、「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいであることがわかる。

◆分析と課題

正答率は72.5%であり、全国平均正答率76.2%を3.7ポイント下回っている。

解答類型3の反応率は、12.8%である。これは、「暮らしの中の伝統文化展」で漆や和紙、織物について展示することは捉えているが、【博物館のちらし(表)】にかかっている「第～期」が開催期間であることを適切に捉えられなかったものと考えられる。

③指導の改善事項

ちらしやポスター、パンフレットなどの実用的な文章を読む際には、目的に応じて中心的な部分と付加的な部分と読み分け、内容を的確に捉えることが大切である。例えば、実際に身の回りにあるちらしを比較しながら読み、それぞれのちらしが誰を対象としているのか、どのようなことを伝えようとしているのかについて話し合うなどの学習活動が考えられる。

国語B 2 説明的な文章を読む(宇宙エレベーター)

設問一

①趣旨 文章の構成を捉えることができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと <自分の考えの形成>

◆評価の観点 読む能力

②解答類型

2 一	設問の概要	生徒数の割合 (%)	
		国東市	全国
	雑誌の記事の説明として適切なものを選択する		
1	1と解答しているもの	13.3	15.6
2	2と解答しているもの	9.2	8.2
◎ 3	3と解答しているもの	62.4	64.9
4	4と解答しているもの	15.1	10.9
5	5上記以外の解答	0.0	0.1
6	6無解答	0.0	0.2

◎が正答

◆正答について

【雑誌の記事】の[A]には、宇宙エレベーターの仕組みと宇宙エレベーター実現の可能性が高まった理由が、[C]には宇宙エレベーターの利点が書かれている。[B]の「宇宙エレベーターのイメージ」は、[A]の宇宙エレベーターの仕組みを図示したものである。

◆分析と課題

正答率は62.4%であり、文章の構成を捉えて読むことに課題がある。全国平均正答率64.9%を2.5ポイント下回っている。

解答類型1の反応率は、13.3%である。これは、[A]と[C]に書かれていることは捉えているが、[B]が[A]の内容を補っていることについては適切に捉えられなかったものと考えられる。解答類型4の反応率は15.1%と高い。これは、[A]と[B]にかかっていることは捉えているが、[C]が宇宙エレベーターに係る利点について述べていることについては、適切に捉えられなかったものと考えられる。

③指導の改善事項 文章と図表などとの関連について考える

説明的な文章には、図表やグラフ、写真やイラストなどの資料が使われていることがある。そのような文章を読む際には、図表などが文章の中心的部分、又は付加的な部分のどの部分と関連しているのかを確認し、文章全体の構成を捉えることができるように指導する必要がある。例えば、図表が使われている文章を読み、図表が文章の内容をよりわかりやすくするために使われていたり、文章が図表の解説になっていたたりすることを捉えるなどの学習活動が考えられる。また、説明や記録の文章を書く際には、図表などの効果的な使い方について考えるように指導することも有効である。

国語B 2 説明的な文章を読む（宇宙エレベーター）

設問二

①趣旨 目的に応じて文章を要約することができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] C 読むこと

イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり、趣旨を捉えたりすること。〈文章の解釈〉

◆評価の観点 読む能力

②解答類型

2 二	設問の概要	生徒数の割合 (%)	
		国東市	全国
	情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する		
◎ 1	2、4と解答しているもの	59.6	64.0
2	上記以外の解答	40.4	35.8
3	無解答	0.0	0.3

◎が正答

◆正答について

宇宙エレベーターの昇降機の特徴として【雑誌の記事】の「大量輸送もOK」の部分に、大量輸送が可能であることが述べられているため、選択肢2が正答である。また、「ケーブルで地上と宇宙を結ぶ」の部分にモーターで動くこと、「ロケットよりも安い費用」の部分に外から供給される電力で動かすことが想定されていることが書かれているため、選択肢4が正答である。

◆分析と課題

正答率は、59.6%であり、目的に応じて情報を選択し整理することに課題がある。全国平均正答率64.0%を4.4%下回っている。

解答類型の9の反応率は40.4%である。このうち「2」を選択したが「4」を選択していない生徒が多い。これは、「ケーブルで地上と宇宙を結ぶ」にかかっている「モーターで動く昇降機」と、「大量輸送もOK」に書かれている「電力で動く宇宙エレベーター」、「ロケットよりも安い費用」に書かれている「宇宙エレベーターは外から供給される電力で動かす」と結びつけて整理することができなかったものと考えられる。

③指導の改善事項 目的に応じて情報を整理する

資料を読む際には、目的や必要に応じて情報を選択し整理することが大切である。その際、線を引いたりメモを取ったりしながら、文章の一部分にとどまることなく、文章全体の中から過不足なく情報を取り出して理解することができるように指導する必要がある。例えば、目的に応じて必要な情報を取り出しながら資料を読み、見出しをつけながら取り出した情報を整理するなどの学習活動が考えられる。

設問三

①趣旨 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] B 書くこと

ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。

＜課題の設定や取材＞

[第1学年] C 読むこと

カ 本や文章などから必要な情報を集めるためのH情報を身につけ、目的に応じて必要な情報を読み取ること。 ＜読書と情報活用＞

◆評価の観点 読む能力

国語への関心・意欲・態度 書く能力 読む能力

②解答類型

2 三

生徒数の割合 (%)

設問の概要	生徒数の割合 (%)	
	国東市	全国
宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く (正答の条件) ① アに、【雑誌の記事】を読んで「宇宙エレベーター」について疑問に思ったことを一つ書いている。 ② アに、「なぜ」、「どのような(に)」、「どのくらい」という言葉のいずれかを使って、二十字以上、四十字以内で書いている。 ③ イに、必要な本の探し方を二つ書いている。		
◎ 1 解答条件①、②、③を満たして解答しているもの	51.4	49.2
2 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	33.9	33.5
3 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	0.5	1.2
4 条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	1.8	2.0
5 上記以外の解答	7.8	8.1
6 無解答	4.6	6.0

◎が正答

◆分析と課題

正答率は 51.4 %であり、疑問に思ったことを学校図書館で調べる際の必要な本の探し方を考えることに課題がある。

解答類型 2 の反応率は 33.9 %である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

- ・ア (略)
- ・イ 宇宙についての本を探す
- ・イ 宇宙エレベーターについて書かれた本を探す

③指導の改善事項 課題の解決に向け、見通しを持って情報を収集する

自ら情報を収集しながら課題の解決を図る学習の際には、新聞や雑誌、コンピュータや情報通信ネットワークなどの様々な情報手段、学校図書館などを活用する必要がある。その際、課題の解決までの見通しを持ち、状況に応じて適切な情報収集の方法を選択するように指導することが大切である。

学校図書館の利用にあたっては、小学校での学習内容を踏まえ、日本十進分類法や本の配置についての知識を生かしたり、コンピュータを使って検索したりするなどの複数の情報収集の方法を考えるように指導することが重要である。また、収集の方法や情報の適否について交流するなど、より主体的な学習を行うように指導することも重要である。

指導にあたっては、平成 25 年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 B 1 三に係る授業アイデア例、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語-9 も参考になる。

(「平成 25 年度【中学校】授業アイデア例」P.9～P.10、「言語活動事例集【中学校版】」)

国語 B 3 情報を関連させて物語を読む (「おじいさんのランプ」)

設問三

- ①趣旨 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。 <記述>

[第1学年] C 読むこと

カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身につけ、目的に応じて必要な情報を読み取ること。 <読書と情報活用>

◆評価の観点 国語への関心・意欲・態度 書く能力 読む能力

②解答類型

3 三

生徒数の割合 (%)

設問の概要	生徒数の割合 (%)	
	国東市	全国
図鑑の説明を読むことで、よくわかるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことがわかったのかを書く。 (正答の条件) ①【物語の一部】の□の中のどの部分についてよくわかるようになったのかを明確にして書いている。 ②よくわかるようになった部分について、どのようなことがわかったのかを【図鑑の説明】の内容を適切に取り上げて書いている。		
1 条件①、②を満たして解答しているもの	57.8	57.7
2 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	12.4	9.3
◎3 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	12.8	7.9
4 上記以外の解答	1.8	2.4
5 無解答	15.1	22.8

◎が正答

◆分析と課題

正答率は 57.8 % であり、本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。無解答率は 15.1 % である。

解答類型 2 の反応率は 12.4 % である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(誤答例)

・「へんてこれんなもの」というところが、図鑑を見てわかるようになった。

このように解答した生徒は【図鑑の説明】の内容を適切に取り上げて書くことができていない。

(誤答例)

・真昼のように明るくなったところについてよく分かった。

石油のランプの傘の部分で光が反射し、より一層明るくなったということだ。

このように解答した生徒は、伝統に関する叙述をランプに関する叙述と混同しており、【物語の一部】の□の中のよく分かるようになった部分と【図鑑の説明】の内容とを適切に結び付けて書くことができていない。

解答類型 3 の反応率は 12.8 % である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(誤答例)

・「明かりが揺れたり消えたりせず、部屋全体を照らす」ことが分かった。

このように解答した生徒は、【図鑑の説明】の内容を取り上げて書いてはいるが、【物語の一部】の□の中のどの部分についてよく分かるようになったのかを明確にして書くことができていない。

「4年間のまとめ【中学校編】」では、文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があると分析している。本設問では、全国平均正答率が57.8%であったことから、この点については、引き続き課題があると考えられる。

③指導の改善事項 自分の考えや気持ちと根拠との関係について吟味する

文学的な文章を読む際に、必要に応じて語注や脚注、百科事典や図鑑などの資料を参考にし、そこから得た情報を補足することによって、場面の様子などについてより想像を広げたり理解を深めたりすることができる場合がある。そのためには、学校図書館や地域の図書館、公共施設、あるいはコンピュータやインターネットなどそれぞれの特徴を生かした適切な情報収集の方法を身につけることが大切である。また、資料から得た情報を踏まえることで、より想像が広がったり理解が深まったりした内容について、根拠を明確にして説明し合うように指導することも重要である。その際、根拠として示した内容が自分の考えや気持ちを支えるものになっているかどうかについて吟味するように指導する必要がある。

指導にあたっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B2三、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B2三、平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B3三に係る授業アイデア例、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語-15も参考になる。

(平成21年度【中学校】授業アイデア例) P.5、「平成21年度【中学校】報告書」P.221、「平成25年度【中学校】授業アイデア例」P.11～P.12、「平成26年度【中学校】授業アイデア例」P.13～P.14「言語活動事例集【中学校版】」P.47～P.48)